

あわべに 淡紅だより

No. 43

2014年6月号

宝塚市議会議員

おしまときこ
大島淡紅子

■ 議員控室

●Tel 0797-71-1141

代表電話ですが、お気軽に！

●Fax 0797-74-1810

●E-mail
goiken@tgikai.zaqr.s.jp

■ 事務所

〒665-0816

宝塚市平井 1-6-14

●Tel & Fax
0797-89-4090

●HP
http://ayumukai.jp/

●E-mail
o-ayumukai
@poem.ocn.ne.jp

☆月～金10:00～15:00

但し、不在のこともございますので、お電話をさせていただいてからお越しください。

☆事務所のコピー機・印刷機（新機種入りしました）ご利用ください。（有料）

☆事務所をグループ・サークル等の活動にご利用ください。（無料）

《使用日時は電話でお問い合わせください。》

☆事務所に教育・平和・食の安全等の本があります。お気軽にご覧ください。

芽吹き、命が生まれ、活力あふれる季節となりました。

みなさまいかがお過ごしでしょうか。私は事務所を移転しました。この際、書類などの整理をと思いますが、なかなか「断捨離！」とはいきません。

移転後、片付けも出来ぬままに、愛知県長久手市視察・福島県視察・東京での社民党女性研修会に参加となりました。多くのものを吸収することができましたが、そのため、今号の発行が遅れてしまいましたこと、お許しください。

しかしこの間、きな臭い情勢は着々と進んでおり、引き続き秘密保護法廃止に



社民党・吉田党首と街頭演説。川西にて。

向けての活動や、国会での議論無く解釈改憲という、民主政治をないがしろにする動きに立ち向かう覚悟です。



議会議案報告

1 主な議案・請願・陳情の審議

・大分県大分市との友好都市の提携について↓全員一致可決

：文化を通じた交流と同時に遠方都市との緩やかな繋がりをもちことで、被災時の緊急に備える。しかし、都市間交流の戦略や継続性に不安が残る。

・平成26年度宝塚市病院事業会計予算↓全員一致可決

：収益的収支の予定額は、病院事業収益122億7千107万4千円から事業費用107億846万9千円を差引いた、15億5千260万5千円。

資本的収支の予定額は、資本的収入6億5千16万9千円から資本的支出16億7千702万2千円を差引いた、10億2千685万3千円が不足する。そのため、当年度損益勘定留保資金8億9千648万2千円及び一時借入金1億3千37万円で措置する。

放射線治療装置の導入、MR装置の増設のための設計などを予定。また運

転資金として水道事業会計から6億円を借入。

・宝塚市福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について↓修正案否決 共産・ユニット

↓原案 全員一致可決

：こども医療費助成事業は、中学校3年生まで無料に。老人医療費助成事業は、低所得者区分Ⅰ・Ⅱの医療費と入院の負担割合及び限度額を引き上げ。

母子家庭等医療費助成事業では、負担限度額を引き上げるが、所得制限は据え置いた。※エイジフレンドリーシティをめざす姿勢と矛盾。

※WHOが提唱する「高齢者に優しい都市」。日本では、秋田市だけがネットワークに参加している。

・宝塚市立スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定について↓修正案否決 公明↓原案 全員一致可決

・工事請負契約（仮称）花屋敷グラウンド整備工事の締結について↓賛成多数可決 公明・藤本

：元々、開発阻止のため購入したが、

グラウンドが少ないため整備して使用することに。アクセス道路や独身寮の解体など取り組む課題もあるが、ここまでは並行して解決を。

・宝塚市立幼稚園の設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について↓全員一致可決

：4月1日から山手台に新築移転。指摘した課題の内、EV設置が未。



山手台に新築移転した長尾幼稚園。

・宝塚市奨学金条例の一部を改正する条例の制定について↓全員一致可決

：県に先駆け、一部給付してきたが、県が実施することになったため。また、貸付の際の連帯保証人十保証人を連帯

保証人のみとする。しかし滞納率は23%。本来教育資金は給付であるべき。

・平成26年度宝塚市水道事業会計予算↓全員一致可決

：98億1千576万千円。前年度比142・1%。窓口業務は委託化となっているが、それ以外は直営保持。

・平成26年度宝塚市下水道事業会計予算↓全員一致可決

：83億2千912万7千（前年度比113・8%）年度末資金残高700万となるため、料金改定も含め審議会に諮問。

・損害賠償の額の決定について↓全員一致可決

：市道の鋼製グレーチングの滑り止め加工が磨耗していたため、負傷した事故に対する損害賠償の額を11万1千346円に決定。市内危険箇所を自治会から挙げて貰うよう指摘した。

・宝塚市市民栄誉賞表彰条例の制定について↓全員一致可決

・宝塚市市民栄誉賞の受賞者の決定につき議会の同意を求めることについて↓全員一致可決

：新賞を創設。宝塚歌劇団を受賞者に。



宝塚歌劇団。市民栄誉賞に！

・「ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度の創設と身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準の緩和を求める意見書」の提出を求める請願↓全員一致可決

：現行の医療費助成の対象は限定されており、早急に医療制度の拡充・充実を図り、障害認定の基準緩和を。

・宝塚市行政事務委託料に関する陳情↓結論を得ず↓予算委員会へ

* 予算特別委員会

（1）一般会計↓修正可決↓自治会連合会への人件費・家賃補助金に関する

修正案

修正案

公明・太誠・伊藤・大河内

残る原案↓可決

太誠・藤本

歳入歳出

716・8億円で前年度比

0.8%。修正は、自治会連合会補助金が2名の事務員を雇用する目的、及び事務所家賃補助として、876万9千円増額する算出根拠が明確になっていないこと。市は、行政事務委託料のあり方について見直しを検討するので、現段階で予算化することとは不適切と考え、減額修正に賛成した。

（2）自治会行政事務委託に関する付



帯決議↓可決

12自治会から陳情も出された『自治会行政事務委託料の見直し』を行うまで委託料は凍結、解除時に市議会に協議を求めるもの。連合会未加入自治会には委託料が支払われない理不尽も再検討すべきと考え、賛成。

（3）リレーマラソンに関する付帯決議↓可決

競馬場で60周年事業として開催。JTBとの実行委員会形式、510万8千円を負担。「競馬のギャンブル性を危惧し運営に関して青少年に配慮すること」という内容で当然賛成した。

競馬場での60周年事業として開催。JTBとの実行委員会形式、510万8千円を負担。「競馬のギャンブル性を危惧し運営に関して青少年に配慮すること」という内容で当然賛成した。

競馬場での60周年事業として開催。JTBとの実行委員会形式、510万8千円を負担。「競馬のギャンブル性を危惧し運営に関して青少年に配慮すること」という内容で当然賛成した。

競馬場での60周年事業として開催。JTBとの実行委員会形式、510万8千円を負担。「競馬のギャンブル性を危惧し運営に関して青少年に配慮すること」という内容で当然賛成した。



宝塚リレーマラソンの会場となる阪神競馬場。

（4）後期高齢者事業予算↓可決

共産 75歳以上に差別的な制度であるのは事実だが、否定すれば現実に市民が不利益を被るため賛成。

（5）残る予算案↓全員一致可決

◇ その他の主な議論

・ガーデンフィールズ跡地利活用の構想

・14億6千万円の累積赤字を抱える国民健康保険の健全化

・待機児童解消計画での南口地区保育所整備

・生活困窮者自立促進支援事業の展開計画

【大島・総括質疑】

Q「自殺対策講演会」での講師の指摘は「宝塚は10、20代の自死率が高い」その動機として、統合失調症は学齢期・思春期の発症が多い。精神疾患の啓発について学校の取組みは。市教委で精神保健福祉士の有資格者はいるか

Aスクールカウンセラーを全中学・小4校に配置。教育総合センターには臨床心理士配置

精神疾患については学校で具体的に学ぶことはなく、教員も子どもも気付きにくい。また情報量がきわめて多

精神疾患については学校で具体的に学ぶことはなく、教員も子どもも気付きにくい。また情報量がきわめて多

精神疾患については学校で具体的に学ぶことはなく、教員も子どもも気付きにくい。また情報量がきわめて多



『統合失調症がやってきた』著者で当事者・ハウス加賀谷さん（中央）と良き協力者の松本キックさん。加賀谷さんは小5から兆候があった。



宝塚市自殺対策講演会で、熱く語るNPO法人自殺対策センターライフリンク代表の清水康之さん。

い現代っ子は他人との関係や感情の表し方が上手く行かないことが多く、繊細でもあります。病であつても無くても、『心』について考えることは重要度を増しています。授業に取り組みNPOもあるのです、市教委に紹介しました。

Q 市制60周年記念式典の目的は。また、国歌斉唱がある市主催事業は
A 市民と行政が共に祝うもの。斉唱は周年事業のみ
おとなも子どもも皆で祝うため、一時保育を付けました。また記念講演も、平田オリザさんによる「新しい広場をつくる」文化によるまちづくり」と、市の進むべき道を考えさせら

学校と一体となつて取り組みたい
教科は平均以上ですが、教科への関心・学習や生活習慣・規範意識などが平均以下です。特に自尊感情は、全ての行動や考え方に大きく影響します。まず、何事にも『やる気』が起きるのが大切です。これは、市教委だけの問題でなく、市を取り巻く社会全体の問題と捉えねばなりません。

Q 全国学力・学習状況調査結果で、児童・生徒は自尊感情が平均値より低い。自分が大事に思えないと他人を大事にできないと思うが、教育委員会としての見解は
A 一番の課題であると認識。幼児教育から自尊感情を育てる教育をしてつなげていきたい。不登校と問題行動が課題であり、教育委員会も一所懸命関わる中で、子どもたちも最後にはこちらの方を向いてくれていると信じて、

福島エクスカーションに参加！

4月23～24日、会派や委員会を超えて市議会として、福島大学・うつくしまふくしま未来支援センターによる「福島学構築プロジェクト」に参加しました。この事業は、「福島の人々・2,000人インタビュー」のデータを基に、シンポジウムや研究会、スタディツアーなどを行い、福島の復興や地域づくりに活かそうというプロジェクトです。



壁面がスクリーンに！
意見交流しやすい。夜明け市場にて。



今回、お世話になった、プロジェクトリーダーで講師の開沼博先生と、伊達洋駆先生、遠藤恵子先生。3人合わせても100歳に満たない、若さあふれるメンバー。

たった2日でしたが、とてつもなく大きな問題を抱えてしまった『フクシマ』に一条の光明を見ました。

エクスカーション【excursion】とは...

従来の見学会や視察と異なる、「体験型の見学会」です。
訪れた場所でさまざまな専門家の解説に耳を傾けながら、参加者も体験や議論を行い、社会資本に対する理解を深めていきます。



まだ手づかずの被災地が残り、津波の威力を物語る。富岡駅（写真上）と海沿いの豊間中（写真下）。

福島エクスカーショ 国道6号線を北上しました！



① いわき市物産センター 「いわき・ら・ら・ミュウ」

小名浜港にあり、お土産物店と飲食店が中心。特徴的なのは、東日本大震災の記録の展示と、東大と企業体との研究を展示した「福島洋上風力交流センター」、そして広い屋内型遊び場。「ここで水揚げされた魚は安い」という現実があった。隣にあるガラス張りの環境水族館「アクアマリンふくしま」は阪神大震災を想定して作られたのが功を奏した。両施設とも復旧のシンボル。



ら・ら・ミュウでは避難所を再現。

② いわき市沿岸部（浜通り）視察

いわき市で最も被害が大きかった豊間地区。薄磯海岸に立つと、水泳監視台と撤去できない住宅が数軒、かつて災害廃棄物置き場であった無人の豊間中学が残る。

③ いわき市見せる課による 農業復興の取組み

いわき市は、東北一日照時間が長く温暖な気候を活かして農作物を生産。が、震災直後、売上げは8割に。

そこで市は「見える化プロジェクト」を立ち上げ、生産者と消費者の目線で、安全性と価格で勝負する農業政策に転換。米の全量全袋検査をはじめ、放射性物質検査と結果公表。

NET やメディア・報道・バスツアー・イベントなどで風評被害に対抗し、昨年は売上を9割にまで回復。学校給食は、食材毎・一食毎の検査を行い、過去2回献立変更したことも。

④ 復興飲食店街「夜明け市場」

シャッター通りの飲み屋街・白銀小路を（株）夜明け市場が借り上げ、被災者・他所からの応援で、現在11店舗が営業。2013年には「起業家支援プロジェクト」、2013年度グッドデザイン賞を受賞した。

⑤ 双葉警察署

天神岬スポーツ公園内の「道の駅ならは・物産館」に仮庁舎を開設。管内8町村中6が「帰宅困難区域」で2.9%の帰還率。窃盗や野生化した家畜の交通事故が多発し、未だなお県内外から支援を受けている。署員も津波で3名が死亡。署長は「3年経っても変わらない。日本全体の問題として考えて欲しい」と話した。

⑥ NPO 法人ハッピーロードネット

事業の一つ「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」は、震災前から子どもたちと相談し、故郷に帰りたくなるような美しいまちをつくるため、163kmに2万本の桜を植える。植樹費用は県補助金を活用し、維持管理費用は、全国から桜の木オーナーを募集し基金化する。

⑦ 天神岬スポーツ公園

温泉付き宿泊施設・サイクリングターミナル・オートキャンプ場・道の駅を含む広大な公園。芝生にはロープが張られ、好天にも関わらず人っ子一人いない不気味さ。放射線モニタリングポストもあった。

⑧ Jヴィレッジ

楢葉町と広野町にまたがるサッカー・ナショナルトレーニングセンター。元々東電が県に寄贈した。福島第一原発から20kmに位置するので、東電・協力企業・自衛隊の事故対応拠点及び東電福島復興本社として使用する。

る。一日3,500人の人員輸送・資機材物流拠点。作業従事者の緊急医療・健康管理機能の「メディカルセンター」は、ホールボディカウンターも設置されており、現在は楢葉町に返還されている。説明は、副社長の謝罪から始まった。



Jヴィレッジのコートは駐車場に。火力発電所の煙突も見えた。

⑨ 楢葉町除染仮置場

町内に24か所ある仮置場の一つを視察（目の前は海岸でキムタクの別荘が…）。本来、下部・上部・側部遮水シート、集水タンク、ガス抜き管を要するがここは未だ。約3年後に中間貯蔵施設へ、更に30年以内に最終処分。

⑩ 富岡町

一部は10km圏内で立ち入り禁止の「帰宅困難区域」。桜の名所・夜ノ森は、一部、時間制限で立入が可能な「居住制限区域」となった。除染で表皮がはぎ取られた桜が痛々しく、誰もいない校庭や住宅街は、映画で観たゴーストタウンのようだ。町の中心地にあるショッピングセンターの駐車場では、除染作業の車両が何か作業中。富岡駅は桟だけが残し、まだ車や住宅は放置されたまま。本来見えないはずの海が見える。こちらも除染作業中だった。



おびただしい放射性廃棄物。

原発事故は、一瞬にして、平凡だけど健康で幸せな日常生活を奪う。賠償の額、道を隔てて住めるか否かが決められ、自主避難するか否かで地域から家庭内から分裂が始まる恐ろしさを併せ持つ。